

講演会

研究の現場から 教育の現場へ

オーストラリアでの スタディツアーを事例に

友永 雄吾 (龍谷大学・准教授)

2019年12月8日(日)

14時-16時

場所

北海道大学アイヌ・先住民研究センター会議室

オーストラリアへのスタディツアーを実施している自治体や大学は数多くあります。治安の良さ、多様な異文化体験、雄大な自然、欧米に比べれば安い運賃など学生へのメリットは大きいといえます。しかし計画から実施にいたるまでのシステム構築やリスク対応は自治体側や大学側の大きな負担になっています。

本講演では、『スタディツアーの理論と実践——オーストラリア先住民との対話から学ぶフォーラム型ツアー』（明石書店）を今年上梓された友永雄吾氏を講師に迎え、友永氏がこれまでに自治体と大学で実施してきたオーストラリア先住民コミュニティでのスタディツアーの教育効果と問題点についてご報告いただきます。そのうえで、ゲストとホストそしてコーディネーターとの「交流」の機会となる「フォーラム型スタディツアー」についてご提案いただきます。



主催

日本文化人類学会
北海道地区研究懇談会

後援

北海道大学アイヌ・先住民研究センター

どなたでもご来聴いただけます。

申し込み不要、参加無料

お問合せ先: 山崎幸治

yamasaki@let.hokudai.ac.jp

